

友愛労働歴史館企画展

期間 2018年

1月5日(金)~6月29日(金)

平日 10:00~17:00

# 戦後民主化のリーダー

# 片山哲

二〇一八年は片山哲(一八八七・七・二八〜一九七八・五・三〇)の没後40年、片山連立内閣(一九四七・五・二四〜一九四八・三・二〇)の崩壊から70年となります。友愛労働歴史館はこれを記念し、クリスチャン、弁護士、政治家として活躍し、戦後日本の民主化をリードした片山哲を取り上げ、企画展「戦後民主化のリーダー片山哲」を開催します。



街頭演説を行う片山哲

## 第1部

### 片山哲の生涯

1887年~1978年



大学入学当時(明治41年)『和敬信愛』より

クリスチャン、弁護士、また政治家として生きた片山哲は、人権の擁護と社会正義の実現をめざし、また平和と民主主義のために生涯を捧げました。彼は一方で、唐の詩人・白楽天に傾倒し、文人宰相と呼ばれました。片山哲の90年の生涯を、写真や解説パネルで紹介いたします。

## 第2部

### 片山内閣の誕生と崩壊

戦後の民主化に大きな役割を果たす

1947年に成立した片山連立内閣は、結果として短命に終わり、今日までその評価は必ずしも高くありません。しかし、片山内閣は女性の地位向上をめざす民法改正、労働省の設置、一連の古い政治体制の改善などの民主化政策を進め、彼は「戦後民主化のリーダー」と呼ばれています。



▲戦前からの盟友・和田操と片山哲

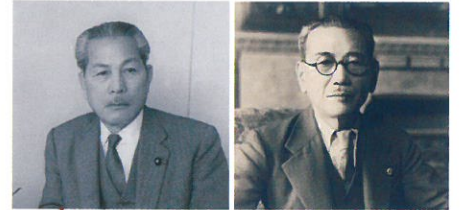


▲首相官邸で執務にあたる片山哲首相

▼片山連立内閣発足 1947年6月1日



内閣官房長官・西尾末廣 衆議院議長・松岡駒吉



## 第3部

### 片山内閣を支えた人々

鈴木義男、森戸辰男、波多野鼎、西尾末廣、松岡駒吉ら

片山首相を支えた人々に鈴木義男司法大臣、森戸辰男文部大臣、波多野鼎農林大臣、水谷長三郎商工大臣、米窪満亮労働大臣、西尾末廣国務大臣(内閣官房長官)らがあり、また松岡駒吉は衆議院議長として片山内閣を支えました。彼らを写真や解説パネルで紹介いたします。



片山哲追悼集会、1978年

友愛労働歴史館

〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館8階 一般財団法人日本労働会館内  
TEL.050-3473-5325 FAX.03-3451-1710  
E-mail: yuairodrekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodrekishikan.com>